

科目名称	基礎整復学
授業コード	BH357
英語名称	Fundamental reposition by Judo 6
学期	2024年度後期
単位	2.0
担当教員	行田 直人
記入不要 ナンバリ ングコード	
授業の概要	臨床的な医学・柔道整復学の知識・理解をさらに深め、基礎整復学演習 で習得した内容から、さらに実践的応用能力に対応できる教育を行う。
科目に関連する実務経験と授業への活用	主に外傷に対する保存療法を取り上げ、臨床経験豊富な本学教員（柔道整復師）が、外傷発生メカニズムや保存療法の適否、保存療法の処方などを教授する。
到達目標	カリキュラムポリシーに掲げる臨床現場で実践可能な知識を身に付けるため、外傷発生メカニズムや保存療法の適否、保存療法の考え方を理解する。
計画・内容	<p>担当：行田直人（柔道整復師）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．競技者の外傷発生状況について 担当：行田直人 予習：上記内容について 復習：上記内容について 2．外傷発生要因と予防対策について 担当：行田直人 予習：上記内容について 復習：上記内容について 3．メディカルチェックについて 担当：行田直人 予習：上記内容について 復習：上記内容について 4．外傷予防における各種コンディショニング方法について 担当：行田直人 予習：上記内容について 復習：上記内容について 5．競技例1）柔道における外傷予防について 担当：行田直人 予習：上記内容について 復習：上記内容について 6．競技例2）水泳における外傷予防について 担当：行田直人 予習：上記内容について 復習：上記内容について 7．競技例3）バスケットボールにおける外傷予防について 担当：行田直人 予習：上記内容について 復習：上記内容について 8．競技例4）サッカーにおける外傷予防について 担当：行田直人 予習：上記内容について 復習：上記内容について 9．成長期における外傷予防について 担当：行田直人 予習：上記内容について 復習：上記内容について 10．高齢者の外傷予防について 担当：行田直人 予習：上記内容について 復習：上記内容について 11．コンディショニングの応用例（上肢・体幹） 担当：行田直人 予習：上記内容について調査 復習：上記内容について 12．コンディショニングの応用例（下肢） 担当：行田直人 予習：上記内容について調査 復習：上記内容について 13．外傷予防のおさらい（講義1～4） 担当：行田直人 予習：上記内容について 復習：上記内容について 14．外傷予防のおさらい（講義5～8） 担当：行田直人 予習：上記内容について 復習：上記内容について 15．外傷予防のおさらい（講義9～10） 担当：行田直人 予習：上記内容について 復習：上記内容について

計画・内容	
授業の進め方	教科書および必要に応じて資料を配布し授業を行う。 コロナウイルスの状況により、本講義はcampus square上での課題学習、オンライン講義等で行う。
能動的な学びの実施	毎回確認テスト（課題）とその解説を適時行い、理解度の振り返りを行う。
授業時間外の学修	予習・復習に合計60時間以上行うこと。 予習：講義終了後に予習内容を通知する 復習：講義にて特に重要な箇所を指示する。
教科書・参考書	参考書：競技者の外傷予防（全国柔道整復学校協会監修；医歯薬出版）
成績評価方法と基準	教科書内容に準じた授業資料に関する小テスト（20%）および定期試験（80%）で総合評価する。
課題等に対するフィードバック	小テストなどで成績の低かった学生には適時指導を行う。
オフィスアワー	Campus squareを参照すること。
留意事項	これまで学んだ生理学、解剖学や柔道整復学の知識が必要である。
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	zoomによるオンライン授業と課題学修を組み合わせる。 事前に授業資料をcampus squareにて掲示、授業終了後に課題を課す。 授業資料を基に課題回答内容評価20%およびcampus square掲示機能による定期試験80%により評価する。